

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット |
| 2. 体験した事例の名称 | 災害現場で、安全確保の為に置いていたセーフティコーンが強風に流されて、移動してしまい、通行中の一般車両に踏まれて破損してしまった。さらに安全区域が不明確になり、二次災害(交通事故の誘発)に繋がりそうになった。 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | セーフティコーンに重りが入っているが、強風という状況を考慮せず、錘を過信してしまい、この事案が起こってしまった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 各隊員が一歩先を読んだ危険予知が出来ていなかった。 |

【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等) |
|------------------|---------------------------------|

【体験した事例について】

| | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 発生日時 | 平成28年12月17日 午後1時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴れ |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外:交差点付近の路上 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、他人を負傷させそうになった。 |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度) | 死亡していた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか) | 交通事故 |
| 7. 事例体験時の活動 | 風水害等の災害現場活動中期 |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか | その他:交通事故による救急支援現状 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



| | |
|-------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[28]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員] |
| ○当事者B | 年齢[21]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 [] |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。



| | 誰が(何が) | なにをした | その他・備考など |
|------|--------|-------------------------|----------|
| 経過1 | 当事者A | セーフティコーンを設定した。 | |
| 経過2 | 当事者B | 危険区域に入り、一般車両との接触危険があった。 | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |
| 経過11 | | | |
| 経過12 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。) | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|--|
| |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

事故車両

強風により
コーンが移動

一般車両がコーン
を踏んでしまい、
コーンを破損。

消防車

走行中

○ セーフティコーン

